

■ 指導案(試練 4) 60 分

- 目的:情報セキュリティ対策では、ある問題に対応する際に複数の手段が存在する場合がある。
そこで、効果的に問題を解決するために、状況に合わせて適切な手段を選び、組み合わせて実践する力を育成することが必要である。

- 学習目標:
 1. ミッションの目的を達成するために、複数の候補から手段を選択して実行することの必要性を体験する
 2. 複数ある手段は、それぞれに効果や実施するために必要な資源が異なることを理解する
 3. システムの状況と自分の行動様式(プレイスタイル)に合わせて、適切な手段を選び取ることが重要であることを理解する

- 指導上の留意点:
 1. 世界図書館で、試練のルールと背景となる考え方を読ませる
 2. それぞれの手段は、その見かけの違いだけでなく、その特性の違いについても理解させる
 3. 与えられた条件の中で宝箱の中身を回収するというミッションを達成するために、効果的な手段を選択するという考え方・アプローチを理解させる

所要時間	指導者の行動	学習活動	指導上の留意点
導入① 2分	この教材の目的、概要を説明する	この教材について説明を聞く	ビジオメッセージを使用してもよい
導入② 4分	情報セキュリティ対策の取り組みについて考えや意見を聞く	アニメやマンガで見たことがあるかなど、体験を聞き出す	アイスブレイク
導入③ 4分	この教材の構成や使い方を説明する	・この教材の構成の説明を聞く ・ステータスの使い方を聞く	ビデオマニュアルを視聴させてもよい
展開①-1 5分	宝箱の中身を回収するために、どのような手段があるか説明する	・世界図書館の「第四の試練の書」を読む ・ステータスに反映されたことを確認する	用語の不明点は適宜解説する
展開①-2 8分	ミッションを達成するために、自分はこの手段を使用するかを考えさせて発表させる	どんな対抗手段があるか、特性を理解して、自分ならどの手段を選択するかを考える	操作の不明点は適宜サポートする
展開①-3 5分	分かったことまとめて意見を交換する	・ワークシートに記入する ・意見を発表する	挙手させてもよい
展開②-1 25分	第四の試練を体験させる	・世界図書館で第四の試練のルールを確認する ・ワールドを開いて試練にチャレンジする	・用語の不明点は適宜解説を追加する ・ビデオマニュアルを視聴させてもよい
展開②-2 5分	第四の試練で分かったことをまとめて発表する	・ワークシートに記入する ・意見や感想を発表する ・ステータスに反映されたことを確認する	
まとめ 2分	情報セキュリティ対策の手段を選ぶ際に留意すべきことについて考えさせる	情報セキュリティ対策を選択して実施する意味と自分の方針との関わりを考える	情報セキュリティ対策の考え方を補足する
応用①	第四の試練に必要なマイクラフトの基本操作をチュートリアルで練習する	マイクラフトに不慣れな児童は、チュートリアルで操作を練習する	操作方法や用語の不明点は適宜解説する
応用②	関連する試練の上級者の試練を体験させる	初心者の試練を終えた児童は、上級者の試練にチャレンジする	用語や行動の不明点は適宜解説する

対応する解説教材の場所:

情報セキュリティについて(上から3つの画面の左下の赤いボタン) > 脅威と脆弱性

http://dcajr.jp/isekai/3_1_2.html